

**【研究課題名】**

**JCOG2504：早期胃癌に対するレスインテンシブサーベイランスの非劣性を検証する  
単群第Ⅲ相試験**

**【臨床研究実施計画番号】**

j RCT1030250844

**1. 研究の対象**

胃切除<sup>\*</sup>後にステージⅠと診断された、胃癌もしくは食道胃接合部癌の患者さん

(※系統的リンパ節郭清を伴う、胃全摘術・幽門側胃切除術・幽門保存胃切除術・噴門側胃切除術・胃亜全摘術のいずれかによる切除術が施行されているもの)

**2. 研究の概要・特色**

現在行われている標準的な術後フォロー検査の内容と頻度は、切除後診断ステージⅡ-Ⅲで推奨される方法を基本としている。その中で、再発リスクが1-3%未満と極めて低いステージⅠ胃癌に対しては現在の検査内容と頻度は過剰であると考えられるため、予後良好な治癒切除後ステージⅠと診断され患者さんを対象に、標準的術後フォロー検査の一部を省略した方法で実施し、標準的な術後フォロー検査と比べても生存期間などへの影響がないことを検証する試験である。

この方法により、検査による放射線被ばくの回避効果や通院負担・経済的負担の軽減にもつながることが期待できる。

**3. 研究責任医師**

**診療科：食道胃外科**

**氏名：松下 尚之**